第３章　道の事務・事業に関する取組の実施状況

道では、道が自ら排出する温室効果ガスの削減と道民や事業者の取組の促進を目的に2021（R３）年３月に「第５期 道の事務・事業に関する実行計画」（計画期間：2021(R３）～2030(R12)年度）を策定し、2030(R12)年度に温室効果ガス排出量を2013(H25)年度比 50%削減という目標に向け種々の取組を進めています。

概況

- ○ 2023（R5）年度の温室効果ガスの排出量は、**223,966 トン（CO_2換算）**。
- ○ **基準年度から 28.2%減少**（88,170 トン（CO_2換算）減）。（図１５）
- ○ **前年度から 7.9%減少**（19,219 トン（CO_2換算）減）。
- ○ 二酸化炭素の区分別排出量は、基準年度に比べ、電気は 69,341 トン（CO_2換算）減、重油は 9,775 トン（CO_2換算）減、ガソリン・軽油は 7,651 トン（CO_2換算）減、灯油は 1,869 トン（CO_2換算）減、熱供給は 101 トン（CO_2換算）減。（表５）

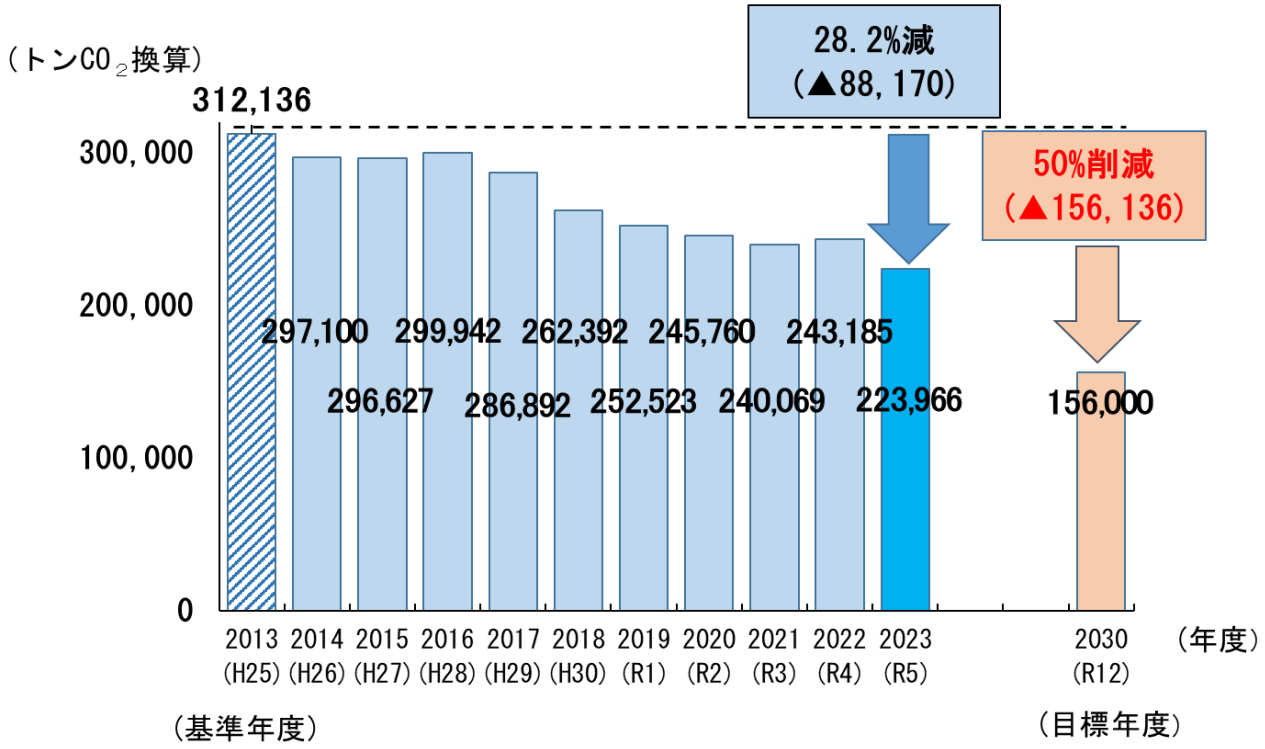

図 15　道の事務事業における温室効果ガス排出量と削減目標との比較

表５　2023(R5)年度の温室効果ガス排出状況　（単位：トン（CO_2換算））

区分		基準年度(2013年度)排出量	2022年度実績	2023年度実績		
			排出量	排出量	基準年度比削減量	前年度比削減量
二酸化炭素(CO_2)	電気	186,592	130,400	117,251	▲ 69,341	▲ 13,149
	重油	73,486	66,853	63,711	▲ 9,775	▲ 3,142
	灯油	14,546	13,526	12,677	▲ 1,869	▲ 849
	ガソリン	17,789	13,221	11,964	▲ 5,825	▲ 1,257
	軽油	4,812	3,432	2,986	▲ 1,826	▲ 446
	熱供給	3,991	3,634	3,890	▲ 101	256
	その他燃料(ガス等)	8,800	10,095	9,641	841	▲ 454
	計 ①	310,016	241,161	222,120	▲ 87,896	▲ 19,041
その他のガス	メタン(CH_4)	1,021	966	912	▲ 109	▲ 54
	一酸化二窒素(N_2O)	993	979	855	▲ 138	▲ 124
	ハイドロフルオロカーボン(HFC)	83	79	79	▲ 4	0
	六ふっ化硫黄(SF_6)	23	0	0	▲ 23	0
	パーフルオロカーボン(PFC)	0	0	0	0	0
	三ふっ化窒素(NF_3)	0	0	0	0	0
	計 ②	2,120	2,024	1,846	▲ 274	▲ 178
合計(①＋②)		312,136	243,185	223,966	▲ 88,170	▲ 19,219

前年度からの主な増減要因

○　前年度からの削減量のうち、13,149 トン（CO_2換算）【約 68%】が電気の使用に伴う二酸化炭素排出量の減少によるものです。

○　主な減少要因としては、庁舎等の照明のＬＥＤ化、気象状況に応じたロードヒーティングの電気使用量変化、排出係数の低い小売電気事業者との契約増加等が影響したと考えられます。

令和５年度の主な取組

○　庁舎等への太陽光発電設備の導入
- PPA※モデルによる太陽光発電設備の設置に向けた調整（１施設）

※施設の屋根や敷地に事業者が太陽光発電設備を設置し、施設所有者が事業者と電力購入契約を締結し、使用量に応じた電気料金を支払って、発電した電力を購入する方式

- 野立て型（地上設置型）PPA 実施可能性調査の実施

○　公用車（乗用車）の次世代自動車化
- 電気自動車（EV）と太陽光発電設備付きカーポートの導入（４振興局）

○　庁舎等における照明設備のLED 化
- 施設の修繕や改修に合わせたLED 化の推進

○　道有施設のZEB 化
- 省エネルギー化に配慮した改修を行うとともに、改築にあたってはZEB 化を推進